



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月12日

東

上場会社名 株式会社オーイズミ 上場取引所  
 コード番号 6428 URL <http://oizumi.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大泉 秀治  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)前田 信夫 (TEL)046(297)2111  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,349	33.6	935	308.8	850	—	520	999.4
2019年3月期第2四半期	4,754	△18.6	228	—	47	—	47	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 511百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 34百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期第2四半期	23	14	—	—
2019年3月期第2四半期	2	10	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	32,632	46.4	15,126	46.4	—	—
2019年3月期	32,096	46.2	14,817	46.2	—	—

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 15,126百万円 2019年3月期 14,817百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2019年3月期	—	—	—	9.0	9.0	—
2020年3月期	—	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	9.0	9.0	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	10,480	7.8	970	79.0	750	176.8	500	△16.4	22	22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	22,500,000株	2019年3月期	22,500,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	4,571株	2019年3月期	4,571株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	22,495,429株	2019年3月期2Q	22,495,429株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)におけるわが国経済は、米中貿易戦争の長期化による世界経済の減速が鮮明になり、国内景気も製造業を中心に下押し圧力がかかり続けております。

当社グループの主要販売需要先となる遊技場は、高射幸性回胴式遊技機の早期設置削減への対応や『ギャンブル等依存症対策基本法』の影響などもあって先行き不透明な状況から設備投資全般は抑制的であります。

このような状況のなか、機器事業は、周辺設備機器部門において、メンテナンスフリーを可能にする『樹脂研磨式メダル自動補給システム』と複数の貸し玉単価にフレキシブルに対応する『多機能IC玉・メダル貸機』の拡販に引き続き注力いたしました。遊技機部門においては、規則改正及び新たな自主規制に対応した回胴式遊技機(6号機)の市場投入を本格化させました。これらにより機器事業全体の売上高は前年同期の実績を大きく上回ることとなりました。

不動産事業は、安定的な収益を確保いたしました。

電気事業は、連結子会社/神奈川電力株式会社が神奈川、栃木両県の太陽光発電所(発電能力合計24メガワット)を順調に稼働させております。

コンテンツ事業は、連結子会社2社/株式会社オーイズミ・アミュージオ、及び株式会社レッド・エンタテインメントがパッケージゲーム、オンラインアミューズメント、アニメキャラクターの企画制作等の事業を行っております。

その他の事業は、連結子会社/妙高酒造株式会社が酒造・酒販事業を行っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高6,349百万円(前年同期比33.6%増)、経常利益850百万円(前年同期は47百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益520百万円(前年同期比999.4%増)となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

## (機器事業)

機器事業は、当第2四半期は売上高4,944百万円(前年同期比47.1%増)、セグメント利益775百万円(前年同期比915.2%増)となりました。

## (不動産事業)

不動産事業は、当第2四半期は売上高360百万円(前年同期比7.1%増)、セグメント利益189百万円(前年同期比14.4%増)となりました。

## (電気事業)

電気事業は、当第2四半期は売上高580百万円(前年同期比0.8%減)、セグメント利益258百万円(前年同期比5.9%増)となりました。

## (コンテンツ事業)

コンテンツ事業は、当第2四半期は売上高360百万円(前年同期比3.1%減)、セグメント利益1百万円(前年同期比83.1%減)となりました。

## (その他事業)

その他事業は、当第2四半期は売上高103百万円(前年同期比5.8%増)、セグメント損失6百万円(前年同期は26百万円の損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末(2019年3月31日)に比べ535百万円増加し、32,632百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1百万円減少し、13,869百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加(195百万円増)、商品及び製品の増加(122百万円増)の一方で、原材料の減少(231百万円減)、その他に含まれる前渡金の減少(127百万円減)によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ536百万円増加し、18,762百万円となりました。これは主に建物及び構築物の増加(401百万円増)、土地の増加(387百万円増)の一方で、機械装置及び運搬具の減少(211百万円減)によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ227百万円増加し、17,505百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加(166百万円増)、流動負債その他に含まれる未払金の増加(167百万円増)の一方で、未払法人税等の減少(91百万円減)によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ308百万円増加し、15,126百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加(317百万円増)によるものです。

この結果、自己資本比率は46.4%と前連結会計年度末に比べ0.2ポイント増加いたしました。

## (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ195百万円増加し8,072百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,431百万円(前年同期は得られた資金1,579百万円)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益850百万円の計上、減価償却381百万円の実施、たな卸資産の減少157百万円、仕入債務の増加178百万円、前渡金の減少127百万円がある一方で、法人税等の支払額419百万円があったことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は971百万円(前年同期は使用した資金649百万円)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出877百万円、貸付による支出85百万円があったことによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は264百万円(前年同期は使用した資金282百万円)となりました。これは主に長期借入金の返済1,217百万円、配当金の支払202百万円がある一方で、長期借入れによる収入1,205百万円の資金取得があったことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績予想につきましては、2019年5月14日付決算短信の発表数値からの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,876,132	8,072,112
受取手形及び売掛金	1,441,645	1,537,206
電子記録債権	1,137,249	1,085,905
商品及び製品	736,839	859,103
仕掛品	521,239	471,736
原材料	981,937	750,389
コンテンツ	0	4,835
その他	1,178,609	1,093,028
貸倒引当金	△2,870	△4,759
流動資産合計	13,870,782	13,869,560
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,376,291	4,777,625
機械装置及び運搬具(純額)	3,717,229	3,505,929
土地	8,491,189	8,878,430
その他(純額)	117,535	115,478
建設仮勘定	61,500	—
有形固定資産合計	16,763,746	17,277,464
無形固定資産		
ソフトウェア	127,842	105,700
その他	21,012	19,907
無形固定資産合計	148,855	125,608
投資その他の資産		
投資有価証券	320,736	307,386
長期貸付金	1,295,000	1,380,000
繰延税金資産	115,693	138,657
長期前払費用	370,235	370,830
その他	317,634	315,403
貸倒引当金	△1,106,357	△1,152,857
投資その他の資産合計	1,312,941	1,359,420
固定資産合計	18,225,542	18,762,492
資産合計	32,096,325	32,632,052

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,727,817	1,894,026
短期借入金	1,140,000	1,140,000
1年内返済予定の長期借入金	2,362,758	2,318,195
未払法人税等	467,236	375,493
賞与引当金	36,677	63,664
製品保証引当金	9,000	5,000
返品調整引当金	3,734	3,585
販売促進引当金	21,800	18,300
その他	242,789	419,085
流動負債合計	6,011,813	6,237,349
固定負債		
長期借入金	9,658,727	9,640,885
リース債務	16,764	19,959
役員退職慰労引当金	530,587	530,418
退職給付に係る負債	52,467	58,801
長期預り保証金	686,131	694,494
資産除去債務	322,019	323,603
固定負債合計	11,266,696	11,268,162
負債合計	17,278,509	17,505,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,900	1,006,900
資本剰余金	673,700	673,700
利益剰余金	13,102,959	13,420,952
自己株式	△4,271	△4,271
株主資本合計	14,779,287	15,097,280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,528	29,260
その他の包括利益累計額合計	38,528	29,260
純資産合計	14,817,815	15,126,540
負債純資産合計	32,096,325	32,632,052

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	4,754,233	6,349,792
売上原価	3,637,679	4,394,518
返品調整引当金繰入額	△283	△149
売上総利益	1,116,838	1,955,423
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	108,482	83,391
販売促進費	30,040	174,079
役員報酬	107,976	104,663
給料手当及び賞与	117,055	134,677
賞与引当金繰入額	19,057	33,500
退職給付費用	6,129	7,034
役員退職慰労引当金繰入額	4,387	4,263
製品保証引当金繰入額	8,000	5,000
貸倒引当金繰入額	18,627	1,889
販売促進引当金繰入額	24,950	—
その他	443,214	471,134
販売費及び一般管理費合計	887,921	1,019,635
営業利益	228,916	935,787
営業外収益		
受取利息	2,851	3,398
受取配当金	3,920	3,545
その他	12,836	6,662
営業外収益合計	19,608	13,607
営業外費用		
支払利息	40,181	37,784
貸倒引当金繰入額	146,000	46,500
その他	14,510	14,650
営業外費用合計	200,691	98,934
経常利益	47,833	850,460
特別利益		
違約金収入	100,000	—
特別利益合計	100,000	—
特別損失		
固定資産除売却損	750	0
特別損失合計	750	0
税金等調整前四半期純利益	147,083	850,460
法人税、住民税及び事業税	132,073	348,891
法人税等調整額	△32,331	△18,882
法人税等合計	99,741	330,009
四半期純利益	47,341	520,451
親会社株主に帰属する四半期純利益	47,341	520,451



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	47,341	520,451
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,599	△9,267
その他の包括利益合計	△12,599	△9,267
四半期包括利益	34,741	511,184
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,741	511,184
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	147,083	850,460
減価償却費	398,181	381,662
のれん償却額	8,431	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	164,627	48,389
製品保証引当金の増減額(△は減少)	1,000	△4,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,762	26,987
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,334	6,334
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,387	△168
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△283	△149
販売促進引当金の増減額(△は減少)	24,950	△3,500
受取利息及び受取配当金	△6,772	△6,944
支払利息	40,181	37,784
違約金収入	△100,000	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,161,539	△44,536
たな卸資産の増減額(△は増加)	160,664	157,470
仕入債務の増減額(△は減少)	53,889	178,009
前渡金の増減額(△は増加)	△117,585	127,214
その他	△246,863	128,317
小計	1,690,334	1,883,330
利息及び配当金の受取額	6,772	6,944
利息の支払額	△40,446	△38,524
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△77,190	△419,930
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,579,469	1,431,820
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△567,232	△877,622
有形固定資産の売却による収入	100,000	—
無形固定資産の取得による支出	△29,910	△55
貸付けによる支出	△146,000	△85,000
その他	△6,298	△8,747
投資活動によるキャッシュ・フロー	△649,441	△971,425
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,114,000	1,205,500
長期借入金の返済による支出	△1,194,084	△1,267,905
配当金の支払額	△202,363	△202,008
財務活動によるキャッシュ・フロー	△282,447	△264,413
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	647,581	195,980
現金及び現金同等物の期首残高	5,492,713	7,876,132
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,140,295	8,072,112

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機器事業	不動産事業	電気事業	コンテンツ事業	その他(注)1	計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	3,362,407	336,927	585,094	372,227	97,577	4,754,233	—	4,754,233
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	20,420	—	5,150	426	25,996	△25,996	—
計	3,362,407	357,347	585,094	377,377	98,004	4,780,230	△25,996	4,754,233
セグメント利益又は損失(△)	76,417	165,247	244,054	8,933	△26,727	467,924	△239,007	228,916

(注) 1 妙高酒造株式会社が運営する酒造事業を「その他」としております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△239,007千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機器事業	不動産事業	電気事業	コンテンツ事業	その他(注)1	計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	4,944,649	360,761	580,509	360,637	103,233	6,349,792	—	6,349,792
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	5,800	22,825	—	400	188	29,213	△29,213	—
計	4,950,449	383,586	580,509	361,037	103,421	6,379,005	△29,213	6,349,792
セグメント利益又は損失(△)	775,786	189,108	258,396	1,512	△6,374	1,218,429	△282,642	935,787

(注) 1 妙高酒造株式会社が運営する酒造事業を「その他」としております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△282,642千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。